

# 本学施設の現状

2023年5月1日現在

富山大学施設企画部



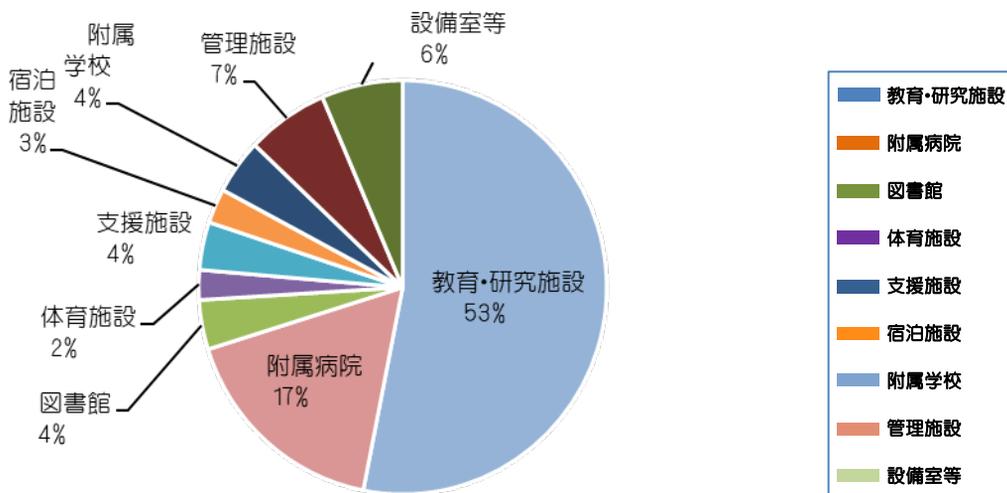
UNIVERSITY  
OF TOYAMA

富山大学

きんときとな大学やちゃ〜

## 施設の保有状況

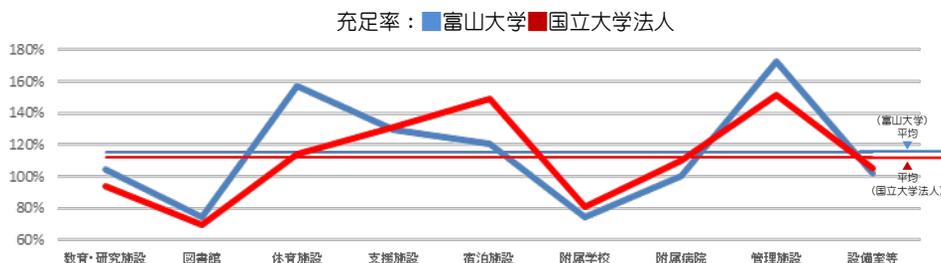
本学保有面積 360,733㎡のうち、教育・研究施設は約53%、附属病院が約17%を占め、この2つの施設で大学全体の7割を占めている。



※区分説明 教育・研究施設—学部・大学院・学内共用施設  
 体育施設—屋内運動場施設及び附属施設  
 宿泊施設—国際交流会館・学生寄宿舍・職員宿舎  
 管理施設—管理施設・一般管理施設・講堂・大学ホール

附属病院—附属病院・看護師宿舎  
 支援施設—研究者交流施設・教職員施設・福利施設・保健管理施設・課外活動施設  
 附属学校—附属中学校・附属小学校・附属幼稚園・附属特別支援学校  
 設備室等—施設等の渡り廊下・設備室

## 面積の充足状況



本学の必要面積に対する保有面積の充足率は、104.7%あり、国立大学法人充足率より高い。

しかし、用途別で見れば、「支援施設」「宿泊施設」「附属学校」「附属病院」「設備室等」が、国立大学法人等充足率より低い。

区分	必要面積	保有面積	充足率	全国大学充足率 (2023年5月1日現在)
<b>富山大学</b>	344,547㎡	360,733㎡	104.70%	99.34%
教育・研究施設	184,813㎡	192,440㎡	104.13%	93.63%
図書館	18,532㎡	13,840㎡	74.68%	69.32%
体育施設	5,291㎡	8,326㎡	157.36%	114.35%
支援施設	10,340㎡	13,384㎡	129.44%	131.36%
宿泊施設	8,052㎡	9,697㎡	120.43%	149.35%
附属学校	20,587㎡	15,296㎡	74.30%	81.19%
附属病院	60,910㎡	61,407㎡	100.82%	109.81%
管理施設	13,474㎡	23,262㎡	172.64%	151.88%
設備室等	22,548㎡	23,081㎡	102.36%	105.68%

※保有面積とは、現有面積に未完成建物の面積を加算した上で、未壊建物の面積を控除した面積をいう。

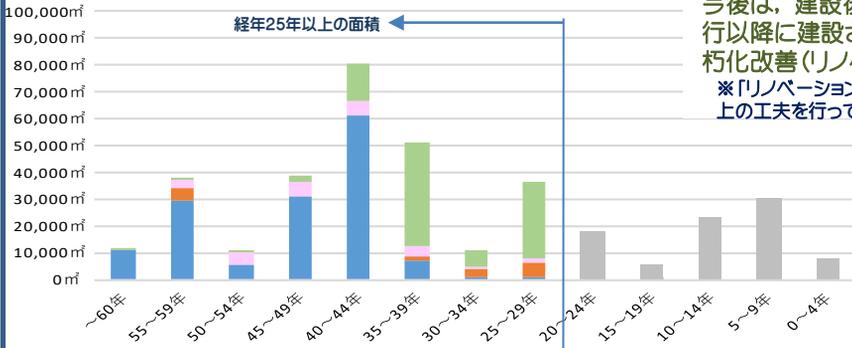
※必要面積とは、基準面積と加算面積を合算した面積で、大学が区分毎に必要とする面積をいう。

※宿泊施設には、職員宿舎は含まない。

# 保有施設の経年状況

## 経年別保有面積

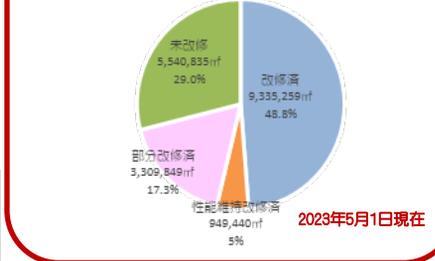
- 施設保有面積 360,733㎡のうち、要改修の目安とされる建築後25年以上を経過しているものは、277,313㎡ (76.9%)となり、国立大学法人等統計比率 65.9%より高い比率となっている。
- 建築後25年以上経過している施設のうち、改修済は 145,596㎡ (52.5%)であり、要改修施設(部分改修済・性能維持改修済並びに未改修)は 131,717㎡ (47.5%)である。また、国立大学法人等統計比率の要改修施設の割合は 51.2% となっている。  
本学の施設は、国立大学法人等統計比率と比較すると、改修は進んでいるが、老朽化が高い傾向にある。
- 本学における教育・研究施設の耐震化は、2016年に100%完了した。



今後は、建設後25年を経過する新耐震基準(昭和56年施行以降に建設された工学部, 芸術文化学部等の施設の老朽化改善(リノベーション)が課題である。

※「リノベーション」=教育研究の活性化を引き起こすため、施設計画・設計上の工夫を行って、新たな施設機能の創出を図る創造的な改修を指す。

国立大学法人等の保有面積29,019㎡のうち  
経年25年以上の面積19,136㎡で、全体の65.9%である



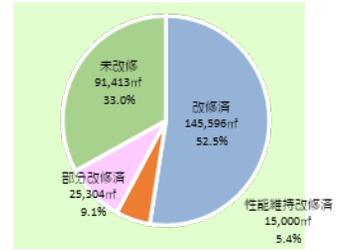
2023年5月1日現在

経年	60年以上	55~59年	50~54年	45~49年	40~44年	35~39年	30~34年	25~29年	20~24年	15~19年	10~14年	5~9年	0~4年
建築年	~1963	1964~1968	1969~1973	1974~1978	1979~1983	1984~1988	1989~1993	1994~1998	1999~2003	2004~2008	2009~2013	2014~2018	2019~
保有面積	11,993㎡	38,059㎡	10,840㎡	38,535㎡	80,135㎡	50,854㎡	10,567㎡	36,330㎡	17,421㎡	5,645㎡	23,058㎡	29,812㎡	7,484㎡
割合	3.3%	10.6%	3.0%	10.7%	22.2%	14.1%	2.9%	10.1%	4.8%	1.6%	6.4%	8.3%	2.1%

25年以上経過面積 277,313㎡ 76.9%

改修済	10,569㎡	29,448㎡	5,251㎡	31,167㎡	61,203㎡	6,830㎡	588㎡	540㎡
性能維持改修済	0㎡	4,258㎡	0㎡	0㎡	0㎡	1,441㎡	3,667㎡	5,634㎡
部分改修済	0㎡	3,615㎡	4,516㎡	5,447㎡	5,581㎡	4,024㎡	272㎡	1,849㎡
未改修	1,424㎡	738㎡	1,073㎡	1,921㎡	13,351㎡	38,559㎡	6,040㎡	28,307㎡

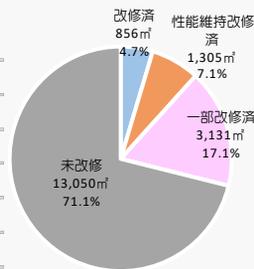
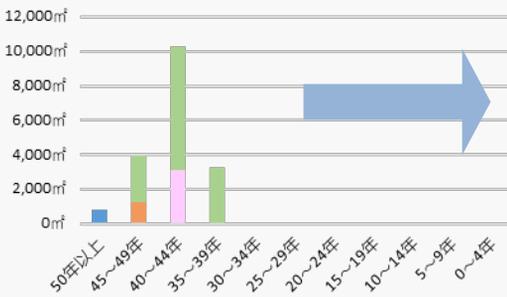
25年以上経過面積のうち  
要改修面積  
131,717㎡ 47.5%



- :(改修済)外部,内部,耐震の全てが改修済みのもの
- :(性能維持改修済)屋外防水,外壁改修を実施したもの
- :(部分改修済)性能維持改修を除く外部,内部,耐震のいずれかが未改修のもの
- :(未改修)外部,内部,耐震の全てが未改修のもの

# 職員宿舎の経年状況

25年以上経過面積  
18,342㎡ 100%



要改修面積  
17,486㎡ 95.3%

職員宿舎の保有面積は 18,342㎡であり、全宿舎が経年25年以上を経過している。

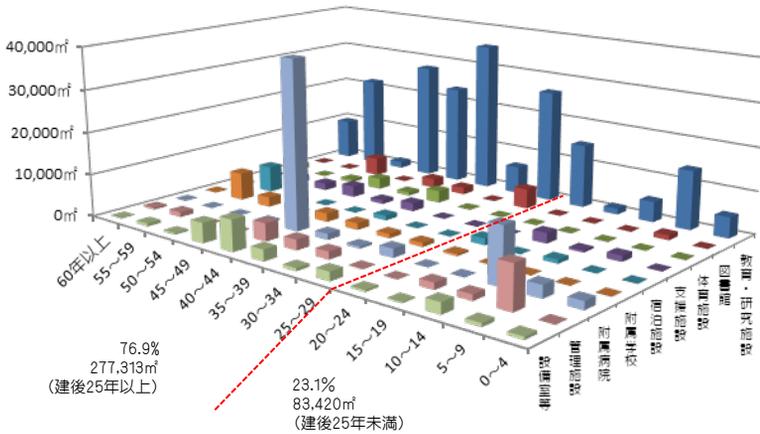
要改修(部分改修済,性能維持改修済並びに未改修)は17,486㎡ (95.3%)であり、本学施設では最も老朽化が進んでいる。

職員宿舎は、施設整備費補助金の整備対象とされず、自己財源で整備する必要がある。

2019年に策定した「職員宿舎の今後について」の中で、現在の保有戸数を見直し適正戸数に削減すること、及び残存させる職員宿舎は、居住環境改善・長寿命化改修を行うとともに、2028年3月までに 7,953㎡を廃止することとしている。廃止を決定した宿舎用地については、売却を含め、用地の有効利用について検討が課題となっている。

- :(改修済)外部,内部,耐震の全てが改修済みのもの
- :(性能維持改修済)屋外防水,外壁改修を実施したもの
- :(部分改修済)性能維持改修を除く外部,内部,耐震のいずれかが未改修のもの
- :(未改修)外部,内部,耐震の全てが未改修のもの

# 経年別・用途別保有面積



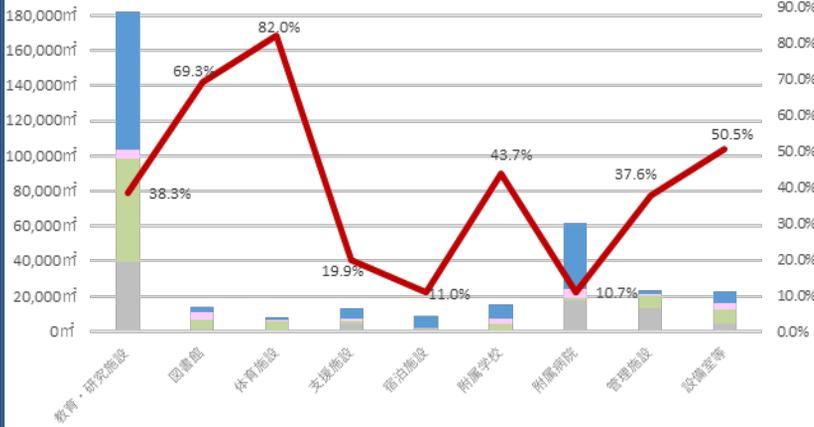
本学で建築後25年以上経過している建物は、全建物面積の76.9%を占めている。  
施設別に見れば、体育施設(100%)、附属学校(96.4%)、図書館(91.7%)が高い割合を示す。

経年		教育・研究施設	図書館	体育施設	支援施設	宿泊施設	附属学校	附属病院	管理施設	設備室等	合計
経年	建築年										
25年以上	1998以前 H10以前	152,575㎡ (79.3%)	12,698㎡ (91.7%)	8,326㎡ (100.0%)	9,110㎡ (68.1%)	7,260㎡ (74.9%)	14,746㎡ (96.4%)	43,660㎡ (71.1%)	10,474㎡ (45.0%)	18,464㎡ (80.0%)	277,313㎡ (76.9%)
25年未満	1999未満 H11以降	39,865㎡ (20.7%)	1,142㎡ (8.3%)	0㎡ (0.0%)	4,274㎡ (31.9%)	2,437㎡ (25.1%)	550㎡ (3.6%)	17,747㎡ (28.9%)	12,788㎡ (55.0%)	4,617㎡ (20.0%)	83,420㎡ (23.1%)
合計		192,440㎡	13,840㎡	8,326㎡	13,384㎡	9,697㎡	15,296㎡	61,407㎡	23,262㎡	23,081㎡	360,733㎡

## 経年別（区分別）大学保有面積

経年		教育・研究施設	図書館	体育施設	支援施設	宿泊施設	附属学校	附属病院	管理施設	設備室等	合計
経年	建築年										
60年以上	～1963 (～S38)	9,646㎡ (5.0%)	0㎡ (0.0%)	1,322㎡ (15.9%)	406㎡ (3.0%)	0㎡ (0.0%)	99㎡ (0.6%)	0㎡ (0.0%)	406㎡ (1.7%)	114㎡ (0.5%)	11,993㎡ (3.3%)
55～59	1964～1968 (S39～S43)	21,853㎡ (11.4%)	0㎡ (0.0%)	19㎡ (0.2%)	1,655㎡ (12.4%)	6,195㎡ (63.9%)	6,502㎡ (42.5%)	0㎡ (0.0%)	1,149㎡ (4.9%)	686㎡ (3.0%)	38,059㎡ (10.6%)
50～54	1969～1973 (S44～S48)	1,491㎡ (0.8%)	4,268㎡ (30.8%)	674㎡ (8.1%)	1,609㎡ (12.0%)	4㎡ (0.0%)	2,285㎡ (14.9%)	0㎡ (0.0%)	158㎡ (0.7%)	351㎡ (1.5%)	10,840㎡ (3.0%)
45～49	1974～1978 (S49～S53)	27,781㎡ (14.4%)	0㎡ (0.0%)	2,544㎡ (30.6%)	2,639㎡ (19.7%)	0㎡ (0.0%)	409㎡ (2.7%)	322㎡ (0.5%)	193㎡ (0.8%)	4,647㎡ (20.1%)	38,535㎡ (10.7%)
40～44	1979～1983 (S54～S58)	23,440㎡ (12.2%)	2,143㎡ (15.5%)	815㎡ (9.8%)	888㎡ (6.6%)	0㎡ (0.0%)	1,988㎡ (13.0%)	39,388㎡ (64.1%)	4,192㎡ (18.0%)	7,281㎡ (31.5%)	80,135㎡ (22.2%)
35～39	1984～1988 (S59～S63)	35,417㎡ (18.4%)	1,629㎡ (11.8%)	2,836㎡ (34.1%)	1,913㎡ (14.3%)	1,061㎡ (10.9%)	1,546㎡ (10.1%)	1,401㎡ (2.3%)	2,420㎡ (10.4%)	2,631㎡ (11.4%)	50,854㎡ (14.1%)
30～34	1989～1993 (H元～H5)	6,501㎡ (3.4%)	0㎡ (0.0%)	84㎡ (1.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	980㎡ (6.4%)	505㎡ (0.8%)	1,809㎡ (7.8%)	688㎡ (3.0%)	10,567㎡ (2.9%)
25～29	1994～1998 (H6～H10)	26,446㎡ (13.7%)	4,658㎡ (33.7%)	32㎡ (0.4%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	937㎡ (6.1%)	2,044㎡ (3.3%)	147㎡ (0.6%)	2,066㎡ (9.0%)	36,330㎡ (10.1%)
20～24	1999～2003 (H11～H15)	15,000㎡ (7.8%)	9㎡ (0.1%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	1,553㎡ (16.0%)	453㎡ (3.0%)	0㎡ (0.0%)	2㎡ (0.0%)	404㎡ (1.8%)	17,421㎡ (4.8%)
15～19	2004～2008 (H16～H20)	1,371㎡ (0.7%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	2,421㎡ (18.1%)	0㎡ (0.0%)	97㎡ (0.6%)	0㎡ (0.0%)	1,532㎡ (6.6%)	224㎡ (1.0%)	5,645㎡ (1.6%)
10～14	2009～2013 (H21～H25)	4,802㎡ (2.5%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	482㎡ (3.6%)	884㎡ (9.1%)	0㎡ (0.0%)	13,016㎡ (21.2%)	1,350㎡ (5.8%)	2,524㎡ (10.9%)	23,058㎡ (6.4%)
5～9	2014～2018 (H26～H30)	13,821㎡ (7.2%)	1,133㎡ (8.2%)	0㎡ (0.0%)	1,371㎡ (10.2%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	2,854㎡ (4.6%)	9,836㎡ (42.3%)	797㎡ (3.5%)	29,812㎡ (8.3%)
0～4	2019～2023 (R元～)	4,871㎡ (2.5%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	0㎡ (0.0%)	1,877㎡ (3.1%)	68㎡ (0.3%)	668㎡ (2.9%)	7,484㎡ (2.1%)
合計		192,440㎡	13,840㎡	8,326㎡	13,384㎡	9,697㎡	15,296㎡	61,407㎡	23,262㎡	23,081㎡	360,733㎡

## 用途別老朽化状況



建築後25年以上経過している施設別の老朽化率を見ると体育施設82.0%が最も高く、附属病院は10.7%と最も低い。

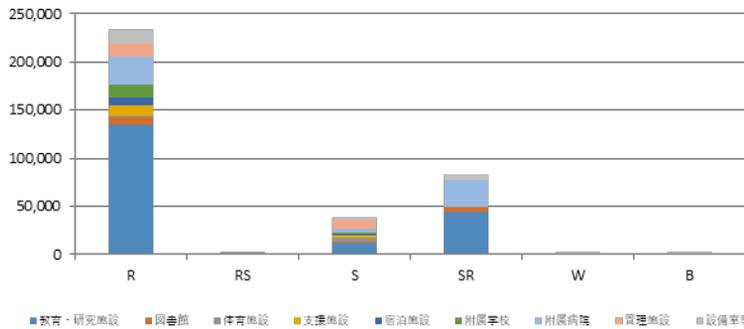
富山大学の老朽化率は35.3%である。

国立大学等の老朽化率は33.8%である。

- ①/② 【老朽化率】保有面積に占める老朽施設の面積(要改修面積)の割合
- 【改修済み】外部、内部、耐震のすべてが改修済み
- 【部分改修済】外部、内部、耐震のいずれかが部分改修
- 【性能維持改修済】
- 【未改修】外部、内部、耐震の全てに未改修
- 【経年25年未満】

経年	教育・研究施設	図書館	体育施設	支援施設	宿泊施設	附属学校	附属病院	管理施設	設備室等	合計
経年25年以上(1998年以前)	152,575㎡	12,698㎡	8,326㎡	9,110㎡	7,260㎡	14,746㎡	43,660㎡	10,474㎡	18,464㎡	277,313㎡
経年25年以上の経年25年未満	改修済み	78,909㎡	3,109㎡	1,495㎡	6,442㎡	6,191㎡	8,059㎡	1,730㎡	6,818㎡	149,854㎡
	部分改修	5,631㎡	4,268㎡	1,063㎡	1,163㎡	0㎡	2,737㎡	5,490㎡	786㎡	25,068㎡
	性能維持改修済	9,426㎡	0㎡	0㎡	0㎡	1,061㎡	218㎡	0㎡	0㎡	10,978㎡
	未改修	58,609㎡	5,321㎡	5,768㎡	1,505㎡	8㎡	3,732㎡	1,069㎡	7,958㎡	91,413㎡
	要改修① (部分改修+性能維持改修済+未改修)	73,666㎡	9,589㎡	6,831㎡	2,668㎡	1,069㎡	6,687㎡	6,559㎡	8,744㎡	127,459㎡
経年25年未満(1999年以降)	39,865㎡	1,142㎡	0㎡	4,274㎡	2,437㎡	550㎡	17,747㎡	12,788㎡	4,617㎡	83,420㎡
保有面積合計②	192,440㎡	13,840㎡	8,326㎡	13,384㎡	9,697㎡	15,296㎡	61,407㎡	23,262㎡	23,081㎡	360,733㎡
老朽化率①/②	38.3%	69.3%	82.0%	19.9%	11.0%	43.7%	10.7%	37.6%	50.5%	35.3%

## 構造別・用途別保有面積



保有面積の構造別割合は、下記のとおりで、国立大学等比率とほぼ同じ傾向となっている。

鉄筋コンクリート造(R)	富大 64.6%	全国 (2023.5.1現在) 59.2%
鉄骨鉄筋コンクリート造(SR)	富大 23.1%	全国 26.0%
鉄骨造(S)	富大 10.8%	全国 11.7%

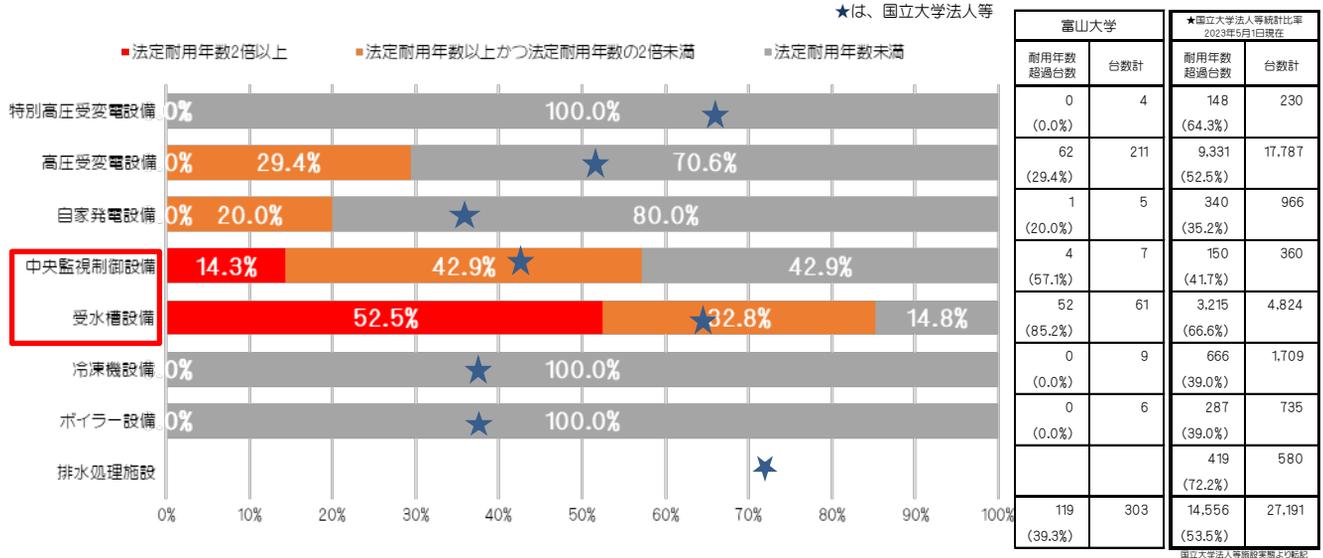
区分	鉄筋コンクリート造(R)	2階以上の階を鉄骨造とした鉄筋コンクリート造(RS)	鉄骨造(S)	鉄骨鉄筋コンクリート造(SR)	木造(W)	その他の構造(B)	計	割合
<b>富山大学</b>	233,202㎡	2,683㎡	38,882㎡	83,237㎡	1,068㎡	1,661㎡	360,733㎡	
教育・研究施設	135,139㎡	0㎡	12,388㎡	44,293㎡	194㎡	426㎡	192,440㎡	53.3%
図書館	8,049㎡	0㎡	1,166㎡	4,625㎡	0㎡	0㎡	13,840㎡	3.8%
体育施設	1,585㎡	2,683㎡	3,597㎡	0㎡	0㎡	461㎡	8,326㎡	2.3%
支援施設	9,675㎡	0㎡	3,158㎡	0㎡	320㎡	231㎡	13,384㎡	3.7%
宿泊施設	8,801㎡	0㎡	884㎡	0㎡	0㎡	12㎡	9,697㎡	2.7%
附属学校	13,328㎡	0㎡	1,301㎡	0㎡	545㎡	122㎡	15,296㎡	4.2%
附属病院	29,636㎡	0㎡	3,802㎡	27,969㎡	0㎡	0㎡	61,407㎡	17.0%
管理施設	12,830㎡	0㎡	10,223㎡	0㎡	0㎡	209㎡	23,262㎡	6.4%
設備室等	14,159㎡	0㎡	2,363㎡	6,350㎡	9㎡	200㎡	23,081㎡	6.4%
割合(%)	64.6%	0.7%	10.8%	23.1%	0.3%	0.5%		
<b>国立大学法人等合計</b>	15,712,362㎡	555,327㎡	3,100,505㎡	6,894,992㎡	151,877㎡	114,621㎡	26,529,684㎡	
2023.5.1現在 割合(%)	59.2%	2.1%	11.7%	26.0%	0.6%	0.4%		

## 基幹設備の老朽化状況

本学の基幹設備は下表のとおり303台を保有する。うち法定耐用年数を超過する設備は119台(39.3%)となっており、国立大学法人等統計比率 53.5%より低くなっている。

一方、基幹設備を個別に見た場合、「中央監視制御設備」、「受水槽設備」が国立大学法人等統計比率より高い値を示している。

富山大学における主な基幹の設備の老朽化状況(2023年5月1日現在)



※法定耐用年数(減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数)はそれぞれ15年

## 経年別台数

経過年数 (中央監視制御設備)	法定耐用年数の2倍以上	法定耐用年数以上かつ 法定耐用年数の2倍未満	法定耐用年数未満	台数計
	30年以上 1993以前設置	15~29年 1994~2008設置	0~14年 2009~設置	
特別高圧 受変電設備	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	4
高圧受変電設備	0 (0.0%)	62 (29.4%)	149 (70.6%)	211
自家発電 設備	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	5
中央監視 制御設備	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	7
受水槽設備	32 (52.5%)	20 (32.8%)	9 (14.8%)	61
冷凍機 設備	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	9
ボイラー 設備	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	6
合計	33 (10.9%)	86 (28.4%)	184 (60.7%)	303

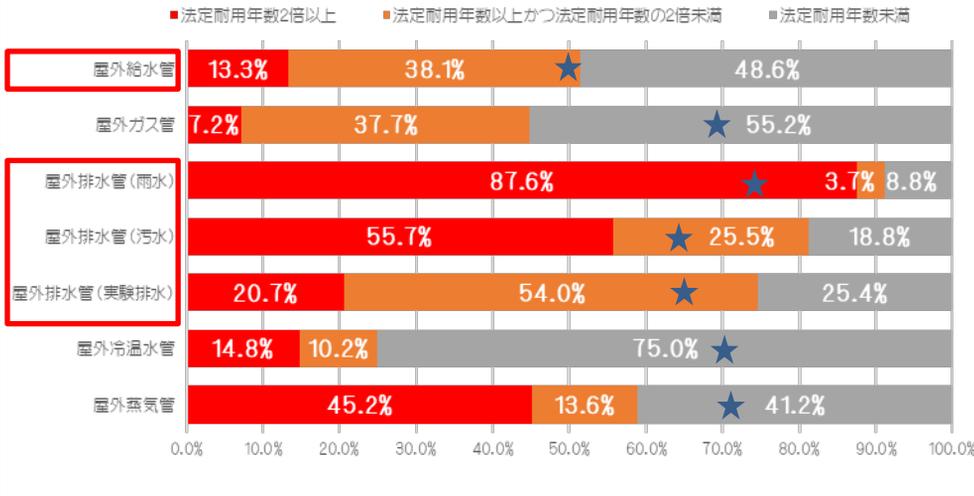
ライフライン(給水管・ガス管等)

本学のライフライン(給水管・ガス管等)の主要配管は下表のとおり 総延長約50kmを保有する。うち法定耐用年数を超過する配管は約28km分(55.1%)となっており、国立大学法人等統計比率 62.5%より低くなっている。

一方、主要配管を個別に見た場合、「屋外給水管,屋外排水管(雨水・汚水・実験排水)」が、国立大学法人等統計比率より高い値を示している。

富山大学における主要配管(給水管・ガス管等)の老朽化状況(2023年5月1日現在)

★は、国立大学法人等



富山大学		★国立大学法人等統計比率 2023年5月1日現在	
耐用年数 超過長さ	長さ合計 (m)	耐用年数 超過長さ	長さ合計 (km)
7,856 (51.4%)	15,273	631 (49.9%)	1,265
3,567 (44.8%)	7,958	407 (69.3%)	587
4,249 (91.2%)	4,657	562 (72.8%)	772
6,196 (81.2%)	7,634	513 (64.0%)	802
2,160 (74.6%)	2,895	110 (64.3%)	171
2,458 (25.0%)	9,842	77 (70.6%)	109
1,470 (58.8%)	2,500	145 (71.4%)	203
27,956 (55.1%)	50,759	2,445 (62.5%)	3,910

国立大学法人等施設実態調査より転記

※法定耐用年数(減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数)はそれぞれ15年

経年別長さ

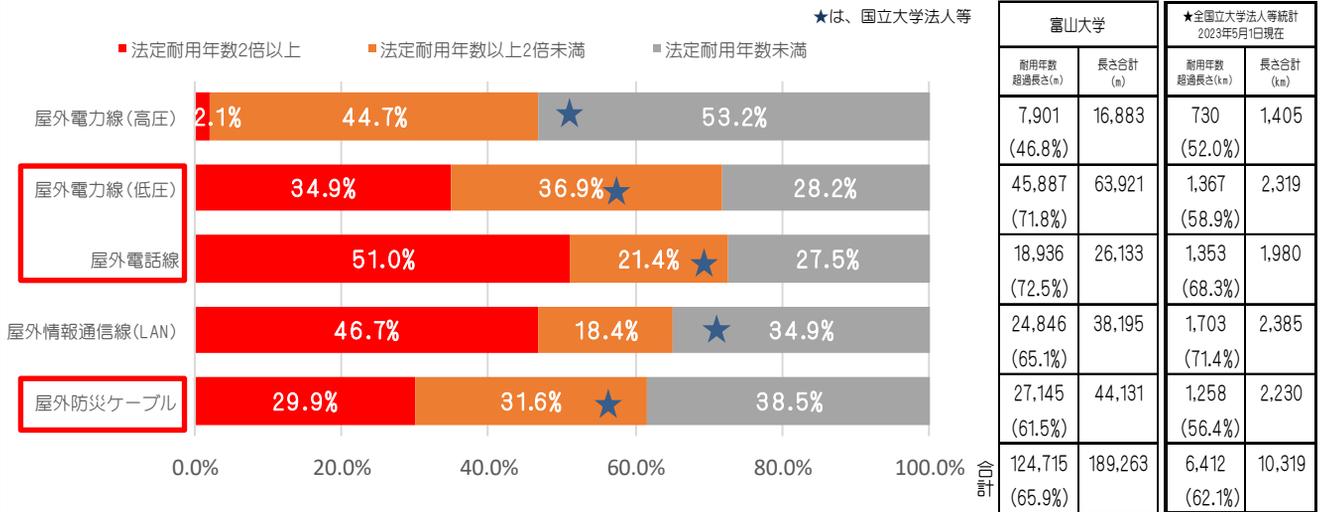
経過年数	法定耐用年数2倍以上	法定耐用年数以上かつ 法定耐用年数の2倍未満	法定耐用年数未満	合計(m)
設置年	30年以上 1993以前設置	15年~29年 1994~2008設置	0年~14年 2009~設置	
屋外給水管	2,032 (13.3%)	5,824 (38.1%)	7,417 (48.6%)	15,273
屋外ガス管	570 (7.2%)	2,997 (37.7%)	4,391 (55.2%)	7,958
屋外排水管 (雨水)	4,079 (87.6%)	170 (3.7%)	408 (8.8%)	4,657
屋外排水管 (汚水)	4,250 (55.7%)	1,946 (25.5%)	1,438 (18.8%)	7,634
屋外排水管 (実験排水)	598 (20.7%)	1,562 (54.0%)	735 (25.4%)	2,895
屋外冷温 水管	1,454 (14.8%)	1,004 (10.2%)	7,384 (75.0%)	9,842
屋外蒸気管	1,130 (45.2%)	340 (13.6%)	1,030 (41.2%)	2,500
合計	14,113 (27.8%)	13,843 (27.3%)	22,803 (44.9%)	50,759

# ライフライン(電力線等)

本学のライフライン(電力線等)の主要配線は下表のとおり総延長約189kmを保有する。うち法定耐用年数を超過する配線は約125km分(65.9%)となっており、国立大学法人等統計比率 62.1%より高い値を示している。

主要配線を個別に見た場合、「屋外電力線(低圧)」「屋外電話線」「屋外防災ケーブル」が、国立大学等比率より高い値を示している。

富山大学における主要配管(電力線等)の老朽化状況(2023年5月1日現在)



※法定耐用年数(減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数)は次のとおり

屋外電力線(高圧), 屋外電力線(低圧)は15年

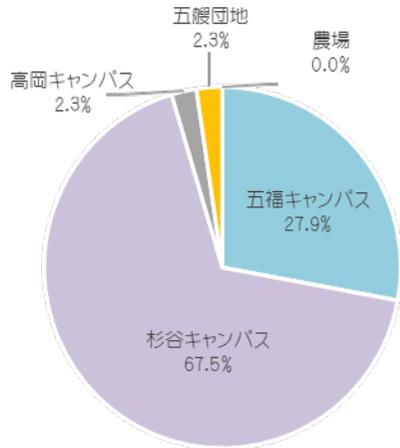
屋外電話線, 屋外情報通信線(LAN), 屋外防災ケーブルは13年(ただし、光ファイバーであれば10年)

## 経年別長さ(m)

経過年数	法定耐用年数2倍以上	法定耐用年数以上2倍未満	法定耐用年数未滿	合計
	30年以上 1993以前設置	15~29年 1994~2008設置	0~14年 2009~2023設置	
屋外電力線(高圧)	355 (2.1%)	7,546 (44.7%)	8,982 (53.2%)	16,883
屋外電力線(低圧)	22,292 (34.9%)	23,595 (36.9%)	18,034 (28.2%)	63,921
合計	22,647 (28.0%)	31,141 (38.5%)	27,016 (33.4%)	80,804 (100.0%)

経過年数		法定耐用年数2倍以上	法定耐用年数以上2倍未満	法定耐用年数未滿	合計
		20年以上(26年以上) 2003以前(1997以前)設置	10~19年(13~25年) 2004~2013(1998~2010)設置	0~10年(0~12年) 2014~2023(2011~2023)設置	
屋外電話線	光ケーブル	804 (3.1%)	383 (1.5%)	0 (0.0%)	1,187 (4.5%)
	光ケーブル以外	12,530 (47.9%)	5,219 (20.0%)	7,197 (27.5%)	24,946 (95.5%)
屋外情報通信線(LAN) 全て光ケーブル		17,836 (46.7%)	7,010 (18.4%)	13,349 (34.9%)	38,195
屋外防災等 ケーブル	光ケーブル	0 (0.0%)	730 (1.7%)	1,843 (4.2%)	2,573 (5.8%)
	光ケーブル以外	13,217 (29.9%)	13,198 (29.9%)	15,143 (34.3%)	41,558 (94.2%)
合計		44,387 (40.9%)	26,540 (24.5%)	37,532 (34.6%)	108,459 (100.0%)

## キャンパス毎のエネルギー

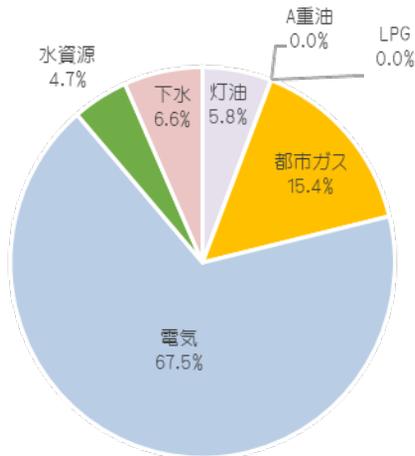


令和4年度(2022)

光熱水料金: 13億6071万円

(令和3年度10億8190万円)

令和3年度より 2億7881万円(25.8%)の増



&lt;参考&gt;

● 富山市における1世帯当たり消費支出料金 約32万円 (R3家計調査より) で、本学の光熱水料金は、約4,252世帯分の料金となる。

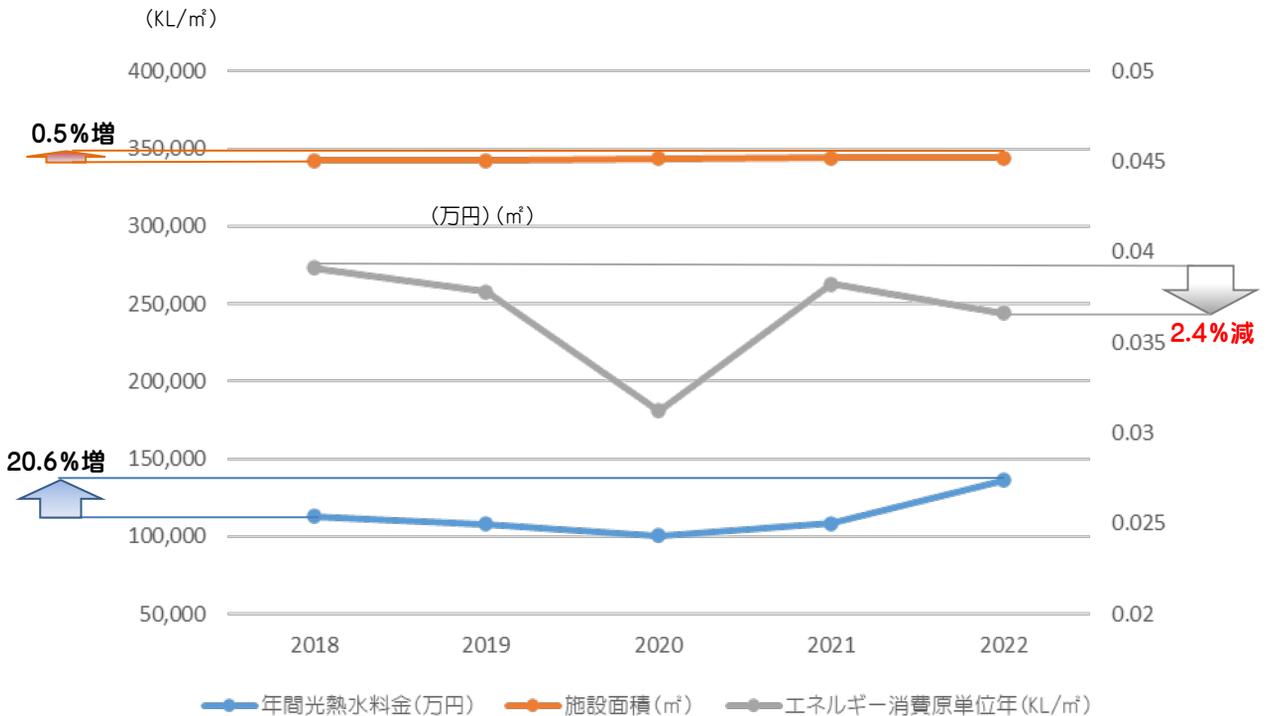
● 1%の節約で約2,070万円の経費削減が可能【削減の内訳】

● ガスの1%	約209万円
● 電気の1%	約918万円
● 上・下水の1%	約154万円
● 灯油の1%	約789万円

種類	数量 金額	五福キャンパス	杉谷キャンパス	高岡キャンパス	五稜団地	農場	計
灯油	数量(L)	4,970	887,650	1,450	3,730		897,800
	金額	551,670	77,778,214	160,950	414,030		78,904,864
A重油	数量(L)						
	金額						
LPG	数量(m <sup>3</sup> )			509			509
	金額			199,663			199,663
都市ガス	数量(m <sup>3</sup> )	466,830	857,355		37,810		1,361,995
	金額	73,890,723	128,123,688		7,202,819		209,217,230
電気	数量(KWH)	11,303,152	27,653,231	991,790	508,347	1,577	40,458,097
	金額	277,507,338	594,988,714	28,644,052	17,068,954	83,924	918,292,982
エネルギー合計金額		351,949,731	800,890,616	29,004,665	24,685,803	83,924	1,206,614,739
水資源計 (市水, 井水, 工業用水)	数量(m <sup>3</sup> )	97,260	222,879	29,592	13,628	26	363,385
	金額	6,430,503	53,470,861	1,266,998	2,939,695	28,116	64,136,173
下水	数量(m <sup>3</sup> )	60,189	162,338	2,217	12,352	120	237,216
	金額	21,584,867	63,640,118	698,154	4,025,802	15,840	89,964,781
水資源・下水合計金額		28,015,370	117,110,979	1,965,152	6,965,497	43,956	154,100,954
合計金額		379,965,101	918,001,595	30,969,817	31,651,300	127,880	1,360,715,693

## 本学のエネルギー

- 過去5年間で、エネルギーを使用する施設面積は 2018年度から 1,712㎡ (0.5%)増加しているが、年間光熱水料金は 23,265万円 (20.6%)の増加、エネルギー消費原単位年は 0.0009KL/㎡ (2.4%)の減少となっている。
- 一方、エネルギー単価は変動しており、近年は上昇の傾向となっている。さらなる光熱水費削減のためには、高効率機器や再生可能エネルギーの導入など省エネルギー化の促進とともに、省エネルギー活動の一層の推進と継続が必要である。



年度	年間光熱水料金 (万円)	施設面積 (㎡)	エネルギー消費原単位年 (KL/㎡)
2018	112,807	342,550	0.03914
2019	107,991	342,502	0.03781
2020	103,211	343,848	0.03809
2021	108,190	344,260	0.03824
2022	136,072	344,262	0.03824

施設面積:省エネ法に基づき寄宿舎等は含まない

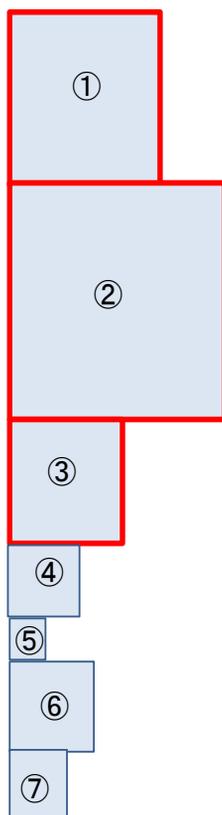
エネルギー消費原単位:エネルギー使用の効率を表す値 数字が小さいほど省エネがすすんでいると判断できる

## 土地の面積

本学の総面積は、 844,512㎡ で東京ドーム18個分に当たる。

総面積の8割を主要3キャンパスで占めている。

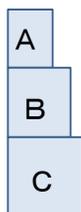
## 各キャンパスの面積対比



- ① 五福キャンパス 232,175㎡  
事務局、人文学部  
教育学部、経済学部  
理学部、工学部、都市デザイン学部
- ② 杉谷キャンパス 381,600㎡  
医学部、薬学部  
附属病院、和漢医薬学総合研究所
- ③ 高岡キャンパス 99,847㎡  
芸術文化学部
- ④ 五艘地区 39,333㎡  
附属幼、小、中、特別支援学校
- ⑤ 西田地方地区 11,166㎡  
教育学部農場
- ⑥ 寺町地区 50,178㎡  
学生寄宿舍、国際交流会館  
自然観察実習センター

- ⑦ その他 30,213㎡  
五福宿舎、西田地方宿舎  
南太閤山宿舎  
立山施設

## 比較例



- A 富山市民球場 14,200㎡
- B 富山県陸上競技場 37,344㎡
- C 東京ドーム 46,755㎡

主要3キャンパスで  
8割を占めている